

平成 28 年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員

29 監査第 92 号
平成 29 年 9 月 5 日

長野市各財産区

長野市長 加藤 久雄 様

長野市監査委員 鈴木 栄一
同 小澤 輝彦
同 岡田 荘史
同 塩入 学

平成 28 年度長野市各財産区
特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 28 年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

平成 28 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象.....	1
第 2 審査の期間.....	1
第 3 審査の方法.....	1
第 4 審査の結果.....	1
松代財産区特別会計.....	2
豊栄財産区特別会計.....	4
西寺尾本郷財産区特別会計.....	6
今井財産区特別会計.....	8
信級財産区特別会計.....	10
日原財産区特別会計.....	12

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

平成 28 年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 28 年度長野市松代財産区特別会計歳入歳出決算

同 豊栄財産区特別会計歳入歳出決算

同 西寺尾本郷財産区特別会計歳入歳出決算

同 今井財産区特別会計歳入歳出決算

同 信級財産区特別会計歳入歳出決算

同 日原財産区特別会計歳入歳出決算

上記各会計歳入歳出決算にかかる歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 29 年 6 月 30 日から 8 月 28 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及びその附属書類が地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

なお、財産収入の割合が少なく、繰越金や基金からの繰入金により運営を行っている財産区が多い。財産区本来の財産収入の確保について研究するとともに、財産収入が見込めない場合には、地元地区と協議し、財産区そのものの在り方について、引き続き検討されたい。

松代財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,949,517 円に対する歳出決算額は 1,495,555 円で、歳入歳出差引残額 453,962 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
県支出金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
財産収入	841,000	837,380	837,380	0	0	99.6	100.0
繰越金	596,000	612,134	612,134	0	0	102.7	100.0
繰入金	500,000	500,000	500,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	3	3	0	0	0.2	100.0
合計	1,940,000	1,949,517	1,949,517	0	0	100.5	100.0
27年度	1,960,000	1,975,272	1,975,272	0	0	100.8	100.0
比較増減	△20,000	△25,755	△25,755	0	0	△0.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	99.0	98.7	98.7	—	—	—	—

収入済額は 1,949,517 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、財産収入 837,380 円(構成比率 43.0%)及び繰越金 612,134 円(同 31.4%)である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,910,000	1,495,555	0	414,445	78.3
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合計	1,940,000	1,495,555	0	444,445	77.1
27年度	1,960,000	1,363,138	0	596,862	69.5
比較増減	△20,000	132,417	0	△152,417	7.6ポイント
前年度対比	99.0	109.7	—	74.5	—

支出済額は1,495,555円で、予算現額に対して77.1%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は444,445円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	60,051	715	60,766	0	0	0

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	24,324,000	△80,000	24,244,000

豊栄財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 221,304 円に対する歳出決算額は 17,020 円で、歳入歳出差引残額 204,284 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	188,000	188,464	188,464	0	0	100.2	100.0
分担金及び負担金	12,000	12,000	12,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	1	1	0	0	0.1	100.0
合 計	222,000	221,304	221,304	0	0	99.7	100.0
27年度	207,000	205,464	205,464	0	0	99.3	100.0
比較増減	15,000	15,840	15,840	0	0	0.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	107.2	107.7	107.7	—	—	—	—

収入済額は 221,304 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。
収入済額の主なものは、繰越金 188,464 円(構成比率 85.2%)である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	172,000	17,020	0	154,980	9.9
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	222,000	17,020	0	204,980	7.7
27年度	207,000	17,000	0	190,000	8.2
比較増減	15,000	20	0	14,980	△0.5ポイント
前年度対比	107.2	100.1	—	107.9	—

支出済額は17,020円で、予算現額に対して7.7%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は204,980円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	18,386	208	18,594	0	0	0

西寺尾本郷財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 547,604 円に対する歳出決算額は 394,229 円で、歳入歳出差引残額 153,375 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	31,000	30,611	30,611	0	0	98.7	100.0
繰越金	203,000	187,992	187,992	0	0	92.6	100.0
繰入金	329,000	329,000	329,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	1	1	0	0	0.1	100.0
合 計	565,000	547,604	547,604	0	0	96.9	100.0
27年度	611,000	615,193	615,193	0	0	100.7	100.0
比較増減	△46,000	△67,589	△67,589	0	0	△3.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	92.5	89.0	89.0	—	—	—	—

収入済額は 547,604 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 329,000 円（構成比率 60.1%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	535,000	394,229	0	140,771	73.7
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	565,000	394,229	0	170,771	69.8
27年度	611,000	427,201	0	183,799	69.9
比較増減	△46,000	△32,972	0	△13,028	△0.1ポイント
前年度対比	92.5	92.3	—	92.9	—

支出済額は 394,229 円で、予算現額に対して 69.8%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 170,771 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野(畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,340,000	△329,000	6,011,000

今井財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 699,072 円に対する歳出決算額は 499,552 円で、歳入歳出差引残額 199,520 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	206,000	204,693	204,693	0	0	99.4	100.0
繰越金	213,000	234,377	234,377	0	0	110.0	100.0
繰入金	268,000	260,000	260,000	0	0	97.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合計	689,000	699,072	699,072	0	0	101.5	100.0
27年度	689,000	692,111	692,111	0	0	100.5	100.0
比較増減	0	6,961	6,961	0	0	1.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	100.0	101.0	101.0	—	—	—	—

収入済額は 699,072 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 260,000 円（構成比率 37.2%）及び繰越金 234,377 円（同 33.5%）である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	679,000	499,552	0	179,448	73.6
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	689,000	499,552	0	189,448	72.5
27年度	689,000	457,734	0	231,266	66.4
比較増減	0	41,818	0	△41,818	6.1ポイント
前年度対比	100.0	109.1	—	81.9	—

支出済額は 499,552 円で、予算現額に対して 72.5%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 189,448 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	0	730,586	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	14,575	109	14,684	0	0	0

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	7,047,000	△260,000	6,787,000

信級財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 551,403 円に対する歳出決算額は 59,890 円で、歳入歳出差引残額 491,513 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	200	200	0	0	6.7	100.0
繰越金	200,000	551,196	551,196	0	0	275.6	100.0
諸収入	2,000	7	7	0	0	0.4	100.0
合 計	205,000	551,403	551,403	0	0	269.0	100.0
27年度	1,205,000	1,612,188	1,612,188	0	0	133.8	100.0
比較増減	△1,000,000	△1,060,785	△1,060,785	0	0	135.2 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	17.0	34.2	34.2	—	—	—	—

収入済額は 551,403 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰越金 551,196 円（構成比率 100.0%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	155,000	59,890	0	95,110	38.6
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	205,000	59,890	0	145,110	29.2
27年度	1,205,000	1,060,992	0	144,008	88.0
比較増減	△1,000,000	△1,001,102	0	1,102	△58.8ポイント
前年度対比	17.0	5.6	—	100.8	—

支出済額は 59,890 円で、予算現額に対して 29.2%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 145,110 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	11,166.4	143.7	11,310.1	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,000,000	0	1,000,000

日原財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 285,877 円に対する歳出決算額は 37,080 円で、歳入歳出差引残額 248,797 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	160	160	0	0	5.3	100.0
繰越金	115,000	285,713	285,713	0	0	248.4	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合 計	120,000	285,877	285,877	0	0	238.2	100.0
27年度	920,000	1,120,376	1,120,376	0	0	121.8	100.0
比較増減	△800,000	△834,499	△834,499	0	0	116.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	13.0	25.5	25.5	—	—	—	—

収入済額は 285,877 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰越金 285,713 円（構成比率 99.9%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	110,000	37,080	0	72,920	33.7
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	120,000	37,080	0	82,920	30.9
27年度	920,000	834,663	0	85,337	90.7
比較増減	△800,000	△797,583	0	△2,417	△59.8ポイント
前年度対比	13.0	4.4	—	97.2	—

支出済額は 37,080 円で、予算現額に対して 30.9%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

不用額は 82,920 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
合 計	531,707	0	531,707	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	12,043.5	167.7	12,211.2	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

平成 28 年度

長野市大豆島財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

29 監査第 93 号
平成 29 年 9 月 5 日

長野市大豆島財産区
長野市長 加藤 久雄 様

長野市監査委員 鈴木 栄一
同 小澤 輝彦
同 岡田 荘史
同 塩入 学

平成 28 年度長野市大豆島財産区
特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 28 年度長野市大豆島財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

平成 28 年度長野市大豆島財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象.....	1
第 2	審査の期間.....	1
第 3	審査の方法.....	1
第 4	審査の結果.....	1
1	決算の概況.....	2
2	財産に関する調書.....	3

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

平成 28 年度長野市大豆島財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 28 年度長野市大豆島財産区特別会計歳入歳出決算
上記歳入歳出決算にかかる歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 29 年 6 月 30 日から 8 月 28 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及びその附属書類が地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

なお、今年度財産区議会において、財産の譲渡議案（財産区の廃止）が提出、議決されたところである。

今後、廃止に向けた手続とともに、市においては、受入後の山林等財産の管理及び活用方法の検討を進められたい。

大豆島財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 598,987 円に対する歳出決算額は 571,248 円で、歳入歳出差引残額 27,739 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,000	177	177	0	0	17.7	100.0
分担金及び負担金	260,000	0	0	0	0	0.0	—
繰入金	220,000	480,000	480,000	0	0	218.2	100.0
繰越金	116,000	118,809	118,809	0	0	102.4	100.0
諸収入	2,000	1	1	0	0	0.1	100.0
合 計	599,000	598,987	598,987	0	0	100.0	100.0
27年度	590,000	592,854	592,854	0	0	100.5	100.0
比較増減	9,000	6,133	6,133	0	0	△0.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	101.5	101.0	101.0	—	—	—	—

収入済額は 598,987 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 480,000 円（構成比率 80.1%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	88,000	79,500	0	8,500	90.3
総務費	509,000	491,748	0	17,252	96.6
予備費	2,000	0	0	2,000	0.0
合 計	599,000	571,248	0	27,752	95.4
27年度	590,000	474,045	0	115,955	80.3
比較増減	9,000	97,203	0	△88,203	15.1ポイント
前年度対比	101.5	120.5	—	23.9	—

支出済額は 571,248 円で、予算現額に対して 95.4%の執行率である。
 支出済額の主なものは、総務費 491,748 円（構成比率 86.1%）である。
 不用額は 27,752 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	270,996	0	270,996	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	11,068	173	11,241	0	0	0

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長野森林組合	203,300	0	203,300

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	3,098,000	△480,000	2,618,000

平成 28 年度

長野市風間財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

29 監査第 94 号
平成 29 年 9 月 5 日

長野市風間財産区

長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一
同 小澤輝彦
同 岡田荘史
同 塩入学

平成 28 年度長野市風間財産区
特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 28 年度長野市風間財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

平成 28 年度長野市風間財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象.....	1
第 2	審査の期間.....	1
第 3	審査の方法.....	1
第 4	審査の結果.....	1
1	決算の概況.....	2
2	財産に関する調書.....	3

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

平成 28 年度長野市風間財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 28 年度長野市風間財産区特別会計歳入歳出決算
上記歳入歳出決算にかかる歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 29 年 6 月 30 日から 8 月 28 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及びその附属書類が地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

なお、今年度財産区議会において、財産の譲渡議案（財産区の廃止）が提出、議決されたところである。

今後、廃止に向けた手続とともに、市においては、受入後の山林等財産の管理及び活用方法の検討を進められたい。

風間財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 368,848 円に対する歳出決算額は 208,307 円で、歳入歳出差引残額 160,541 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	86,000	86,000	86,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	160,000	160,000	160,000	0	0	100.0	100.0
繰越金	122,000	122,846	122,846	0	0	100.7	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	370,000	368,848	368,848	0	0	99.7	100.0
27年度	326,000	324,781	324,781	0	0	99.6	100.0
比較増減	44,000	44,067	44,067	0	0	0.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	113.5	113.6	113.6	—	—	—	—

収入済額は 368,848 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、分担金及び負担金 160,000 円（構成比率 43.4%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	57,000	30,445	0	26,555	53.4
総務費	312,000	177,862	0	134,138	57.0
予備費	1,000	0	0	1,000	0.0
合 計	370,000	208,307	0	161,693	56.3
27年度	326,000	201,935	0	124,065	61.9
比較増減	44,000	6,372	0	37,628	△5.6ポイント
前年度対比	113.5	103.2	—	130.3	—

支出済額は 208,307 円で、予算現額に対して 56.3%の執行率である。
 支出済額の主なものは、総務費 177,862 円（構成比率 85.4%）である。
 不用額は 161,693 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	19,768	0	19,768	0	0	0
宅 地	311	0	311	0	0	0
合 計	20,079	0	20,079	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	604	0	604	0	0	0

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長野森林組合	2,300	0	2,300

平成 28 年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

29 監査第 95 号
平成 29 年 9 月 5 日

長野市東条財産区

長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一
同 小澤輝彦
同 岡田荘史
同 塩入学

平成 28 年度長野市東条財産区
特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 28 年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

平成 28 年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象.....	1
第 2	審査の期間.....	1
第 3	審査の方法.....	1
第 4	審査の結果.....	1
1	決算の概況.....	2
2	財産に関する調書.....	3

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

平成 28 年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 28 年度長野市東条財産区特別会計歳入歳出決算

上記歳入歳出決算にかかる歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 29 年 6 月 30 日から 8 月 28 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及びその附属書類が地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

なお、現在の会計は、財産収入の割合が少なく、繰越金や基金からの繰入金により運営を行っている状態である。財産区本来の財産収入の確保について研究するとともに、財産収入が見込めない場合には、地元地区と協議し、財産区そのものの在り方について、引き続き検討されたい。

東条財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 597,386 円に対する歳出決算額は 428,100 円で、歳入歳出差引残額 169,286 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
県支出金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
財産収入	6,000	4,869	4,869	0	0	81.2	100.0
繰越金	308,000	282,515	282,515	0	0	91.7	100.0
繰入金	310,000	310,000	310,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	627,000	597,386	597,386	0	0	95.3	100.0
27年度	536,000	578,237	578,237	0	0	107.9	100.0
比較増減	91,000	19,149	19,149	0	0	△12.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	117.0	103.3	103.3	—	—	—	—

収入済額は 597,386 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 310,000 円（構成比率 51.9%）及び繰越金 282,515 円（同 47.3%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	98,000	77,992	0	20,008	79.6
総務費	519,000	350,108	0	168,892	67.5
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	627,000	428,100	0	198,900	68.3
27年度	536,000	295,722	0	240,278	55.2
比較増減	91,000	132,378	0	△41,378	13.1ポイント
前年度対比	117.0	144.8	—	82.8	—

支出済額は 428,100 円で、予算現額に対して 68.3%の執行率である。
 支出済額の主なものは、総務費 350,108 円（構成比率 81.8%）である。
 不用額は 198,900 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	16,179	0	16,179	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	186,111	0	186,111	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
合 計	211,290	0	211,290	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	5,361	21	5,382	0	0	0

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長野森林組合	10,500	0	10,500

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	19,556,851	△310,000	19,246,851

平成 28 年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

29 監査第 96 号
平成 29 年 9 月 5 日

長野市西条財産区

長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一
同 小澤輝彦
同 岡田荘史
同 塩入学

平成 28 年度長野市西条財産区
特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 28 年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

平成 28 年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象.....	1
第 2	審査の期間.....	1
第 3	審査の方法.....	1
第 4	審査の結果.....	1
1	決算の概況.....	2
2	財産に関する調書.....	3

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

平成 28 年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 28 年度長野市西条財産区特別会計歳入歳出決算

上記歳入歳出決算にかかる歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 29 年 6 月 30 日から 8 月 28 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及びその附属書類が地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

なお、西条財産区においては、地元小学校や P T A などと連携して植樹活動を行うなど、財産の維持及び財産区の普及活動に取り組まれている。

財産区を継続していくため、引き続き活動に努めていただくとともに、財産区本来の財産収入の確保についても研究されたい。

西条財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,678,356 円に対する歳出決算額は 976,266 円で、歳入歳出差引残額 702,090 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
県支出金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
財産収入	123,000	123,815	123,815	0	0	100.7	100.0
繰越金	464,000	651,721	651,721	0	0	140.5	100.0
繰入金	850,000	850,000	850,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	50,000	52,813	52,813	0	0	105.6	100.0
諸収入	2,000	7	7	0	0	0.4	100.0
合計	1,490,000	1,678,356	1,678,356	0	0	112.6	100.0
27年度	1,532,000	1,611,308	1,611,308	0	0	105.2	100.0
比較増減	△42,000	67,048	67,048	0	0	7.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	97.3	104.2	104.2	—	—	—	—

収入済額は 1,678,356 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 850,000 円(構成比率 50.6%)及び繰越金 651,721 円(同 38.8%)である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	403,000	382,792	0	20,208	95.0
総務費	653,000	414,467	0	238,533	63.5
林業費	298,000	179,007	0	118,993	60.1
林道費	86,000	0	0	86,000	0.0
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合計	1,490,000	976,266	0	513,734	65.5
27年度	1,532,000	959,587	0	572,413	62.6
比較増減	△42,000	16,679	0	△58,679	2.9ポイント
前年度対比	97.3	101.7	—	89.7	—

支出済額は 976,266 円で、予算現額に対して 65.5%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 414,467 円（構成比率 42.5%）及び議会費 382,792 円（同 39.2%）である。

不用額は 513,734 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
合 計	1,171,391	0	1,171,391	447	0	447
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	90,024.0	△5,484.5	84,539.5	0	0	0

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	833,000	0	833,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	26,350,000	△850,000	25,500,000

平成 28 年度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

29 監査第 97 号
平成 29 年 9 月 5 日

長野市大岡中牧財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一
同 小澤輝彦
同 岡田荘史
同 塩入学

平成 28 年度長野市大岡中牧財産区
特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 28 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

平成 28 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象.....	1
第 2	審査の期間.....	1
第 3	審査の方法.....	1
第 4	審査の結果.....	1
1	決算の概況.....	2
2	財産に関する調書.....	3

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

平成 28 年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 28 年度長野市大岡中牧財産区特別会計歳入歳出決算

上記歳入歳出決算にかかる歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 29 年 6 月 30 日から 8 月 28 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及びその附属書類が地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

なお、公有財産の土地及び管理財産が信州新町中牧財産区と共有となっているため、中牧財産区協議会を設置し、共有財産の管理及び処分又は廃止に関する事務を行っている。

協議会の運営に伴い委員報酬が発生しているが、財産区の一元的な管理により経費の削減が考えられることから、合理的な財産区の管理運営について、引き続き検討されたい。

大岡中牧財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 13,970,580 円に対する歳出決算額は 13,735,629 円で、歳入歳出差引残額 234,951 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,362,000	5,355,861	5,355,861	0	0	99.9	100.0
繰入金	7,820,000	7,819,000	7,819,000	0	0	100.0	100.0
繰越金	700,000	795,695	795,695	0	0	113.7	100.0
諸収入	2,000	24	24	0	0	1.2	100.0
合 計	13,884,000	13,970,580	13,970,580	0	0	100.6	100.0
27年度	5,724,000	6,326,862	6,326,862	0	0	110.5	100.0
比較増減	8,160,000	7,643,718	7,643,718	0	0	△9.9 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	242.6	220.8	220.8	—	—	—	—

収入済額は 13,970,580 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、繰入金 7,819,000 円（構成比率 56.0%）及び財産収入 5,355,861 円（同 38.3%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	205,000	183,736	0	21,264	89.6
総務費	13,629,000	13,551,893	0	77,107	99.4
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	13,884,000	13,735,629	0	148,371	98.9
27年度	5,724,000	5,531,167	0	192,833	96.6
比較増減	8,160,000	8,204,462	0	△44,462	2.3ポイント
前年度対比	242.6	248.3	—	76.9	—

支出済額は 13,735,629 円で、予算現額に対して 98.9%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 13,551,893 円（構成比率 98.7%）である。

不用額は 148,371 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	42,681.82	△531.25	42,150.57	0	0	0

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	37,336,899	△6,808,376	30,528,523

(3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

平成 28 年度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

29 監査第 98 号
平成 29 年 9 月 5 日

長野市信州新町中牧財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員 鈴木栄一
同 小澤輝彦
同 岡田荘史
同 塩入学

平成 28 年度長野市信州新町中牧財産区
特別会計決算審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 28 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

平成 28 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1	審査の対象.....	1
第 2	審査の期間.....	1
第 3	審査の方法.....	1
第 4	審査の結果.....	1
1	決算の概況.....	2
2	財産に関する調書.....	3

- (注) 1 比率 (%) は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。
2 構成比率 (%) は、合計が100となるよう一部調整した。

平成 28 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 28 年度長野市信州新町中牧財産区特別会計歳入歳出決算

上記歳入歳出決算にかかる歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 29 年 6 月 30 日から 8 月 28 日まで

第 3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及びその附属書類が地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

また、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第 4 審査の結果

決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

なお、公有財産の土地及び管理財産が大岡中牧財産区と共有となっているため、中牧財産区協議会を設置し、共有財産の管理及び処分又は廃止に関する事務を行っている。

協議会の運営に伴い委員報酬が発生しているが、財産区の一元的な管理により経費の削減が考えられることから、合理的な財産区の管理運営について、引き続き検討されたい。

信州新町中牧財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,874,407 円に対する歳出決算額は 2,189,847 円で、歳入歳出差引残額 684,560 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,866,000	1,869,931	1,869,931	0	0	100.2	100.0
繰入金	584,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	997,000	1,004,461	1,004,461	0	0	100.7	100.0
諸収入	2,000	15	15	0	0	0.8	100.0
合 計	3,449,000	2,874,407	2,874,407	0	0	83.3	100.0
27年度	2,240,000	2,837,186	2,837,186	0	0	126.7	100.0
比較増減	1,209,000	37,221	37,221	0	0	△43.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	154.0	101.3	101.3	—	—	—	—

収入済額は 2,874,407 円で、調定額に対して 100.0%の収入率である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,869,931 円（構成比率 65.1%）である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	2,957,000	2,019,263	0	937,737	68.3
予備費	200,000	0	0	200,000	0.0
合 計	3,449,000	2,189,847	0	1,259,153	63.5
27年度	2,240,000	1,832,725	0	407,275	81.8
比較増減	1,209,000	357,122	0	851,878	△18.3ポイント
前年度対比	154.0	119.5	—	309.2	—

支出済額は 2,189,847 円で、予算現額に対して 63.5%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 2,019,263 円（構成比率 92.2%）である。

不用額は 1,259,153 円で、主なものは総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	42,681.82	△531.25	42,150.57	0	0	0

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長野森林組合	62,800	0	62,800

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	4,818,000	0	4,818,000

(3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000